

開講年次・時期	1年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK220	科目名	子ども家庭福祉	担当者名	棟方 梢
授業の概要	児童福祉を取り巻く家族との実態や現代の問題点などを学び、社会背景を考えていく。児童家庭福祉の諸制度やサービス体系等を理解し、その知識を踏まえて子どもや家族の問題を多面的に捉え、現状と課題について考えていくことを目的とする。				
科目の到達目標	①子育て家庭における環境や様々な状況にある子どもの背景を学び、他職種との連携方法を理解すること。 ②児童家庭福祉の仕組みと法制度及びサービスの全体像を理解できること。 ③援助者としての正しい理念と価値観を身につけることができること。				
DPの観点	⑥専門知識・技能 ⑧実践力 ⑩問題解決力				
授業時間外学修(予習・復習)	テキストの専門用語の予習・復習を行う。(15分程度)				
フィードバックの方法	提出課題やリアクションペーパーにコメントを付して返却				
単位認定の要件	リアクションペーパー及びレポートの提出				
評価の方法・割合(%)	授業内活動80% リアクションペーパー及びレポート20%				
履修上の注意事項					

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			子ども家庭福祉の理念と概念を理解する。	⑥	リアクションペーパー
2			子ども家庭福祉の歴史的変遷と諸外国の動向を理解する。	⑥	リアクションペーパー
3			子どもの人権擁護について理解する。	⑤⑥	リアクションペーパー
4			子ども家庭福祉の制度と実施体制を理解する。	⑤⑥	リアクションペーパー
5			子ども家庭福祉の施設と専門職について理解する。	⑤⑥	リアクションペーパー
6			少子化と地域子育て支援について理解する。	⑥⑩	リアクションペーパー
7			母子保健と子どもの健全育成について理解する。	⑤⑥	リアクションペーパー
8			多様な保育ニーズへの対応について理解する。	⑤⑥	リアクションペーパー
9			子ども虐待・DVとその防止について理解する。	⑥⑧	リアクションペーパー
10			貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応について理解する。	⑤⑩	リアクションペーパー
11			社会的養護について理解する。	⑤⑥	リアクションペーパー
12			障害のある子どもへの対応について理解する。	⑥⑩	リアクションペーパー
13			少年非行等への対応について理解する。	⑥⑩	リアクションペーパー
14			次世代育成支援と子どもの家庭福祉の推進について理解する。	⑥⑩	リアクションペーパー
15			地域における連携・協働とネットワークについて理解する。	④⑤	レポート
期末試験					

使用テキスト	『図解で学ぶ保育 子ども家庭福祉』(株式会社萌文書林)
参考文献 参考URL	『学ぶ・わかる・みえるシリーズ保育と現代社会 保育と児童家庭福祉』[第2版](株式会社みらい)
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--